

## 令和5年度小学生学び応援塾について（参考）

## 1 事業概要

本事業は、射水市内小学校5校の3年生児童を対象に、放課後空き教室等を利用して、算数科の補充学習として実施している。対象となる5校は、児童数が多い小学校を中心に、教育センターや教育委員会で協議して決定している。各校の定員を概ね20名として、本人と保護者の同意を得て希望する児童を集めて実施している。曜日毎に5人の支援員が指導にあたり、教育委員会で担当している専任支援員が作成した百マス計算（四則計算）や復習問題等、基礎基本の学習内容を中心に実施している。

今年度の学び応援塾は、新型コロナウイルス感染症が、5月に感染予防法上「5類」に移行したことで、5月中旬より開始した。各校の年間の実施回数は、29回を予定していたが、学校行事、台風や大雪の影響による集団下校、インフルエンザの流行による学級・学年閉鎖の影響等により、各校26回程度実施した。

児童からは「計算が苦手だったけれど、上手に計算できるようになった」「学び応援塾の先生が優しく教えてくださったので分かるようになってきた」「期末テストにも同じような問題が出て、いい点数が取れるようになった」「百マス計算をしているので、計算が早くなってきた」「算数が好きになってきて、テストでよい点数が取れるようになってきた」など、自信がつき、学習意欲が高まってきている様子が何人も見られた。

保護者からは「こつこつと頑張って取り組むことで難しい問題もできるようになった」「学び応援塾のおかげで分かることが増えてきましたね」「学校の宿題をする様子を見ていると、計算がとても上手になってきたように思います」「先生方の励ましによって、分からなかった問題も分かるようになってきたり、諦めずチャレンジしたりするようになり、心の成長を感じます」など、子供の姿を見て、喜びや感謝の言葉が多かった。また、家庭の中で子供を励ましたり応援したりしている姿が見られ、子供の自信に繋がっている。

## 2 実施状況

- ・大島小学校、大門小学校、新湊小学校、小杉小学校、歌の森小学校の5校で実施
- ・各小学校、3年生を対象に実施（各小学校20名程度）
- ・各小学校、年間26回程度実施（写真は、大島小学校と小杉小学校）



## 3 令和6年度の体制（案）

- ・児童数が多い小学校を中心に、5校で実施する。
- ・今年度と同様、該当校で勤務している非常勤講師や学習サポーター、スクールサポートスタッフ、また退職教員等の協力により、指導者の確保を図る。
- ・学級担任や管理職等に、実際に学習している児童の様子を見に来てもらい、声かけをしたり励ましたりしてもらうことで、児童の自信や学習意欲を高めることに繋げる。